

# unjour

2020 春

いつもどこかで素敵な出会いを



**読者プレゼント**  
同封のハガキにご意見・ご感想・質問などお気軽にお寄せください。

**ヤマト醤油味噌  
フリーズドライ味噌汁**  
抽選で10名様に  
**プレゼント**

応募締切 令和2年 7月31日金

※当選者には、こちらからお届けに伺います。

## 祭壇に息づく、大切な故人の想い

仏式葬儀といえば白木祭壇が主流でしたが、近年では故人の好きな花や人柄を偲ばせる花を飾った祭壇も増えています。今村生花さんに話を聞きました。

### Q & A

**Q・お葬儀のお花は貰ってもよいの？**

**A・**最近では葬儀の多様化によって、きたりや習慣にとられない様式も増えてきています。

こだわらない人が多い葬儀では葬儀の花のおすそ分けは喜ばれる傾向にあります。供養の花を故人を偲ぶ思いを含めて分け合う、地域によっては長寿を全うした方のお花は長寿にあずかれる縁起物といわれています。ただ故人が若い人の時には控える地域や葬儀のお花は縁起が悪いと考える方もあります。どれが正解というのはなく、実際にはお花を貰うかは地域の風習や本人の考え次第といえます。

**Q・お葬儀のお花を**

**近所に配っても良いの？**

**A・**地域によっては葬儀のお花を近所に配る習慣があります。仏壇や部屋に飾ることで故人の慰めになるとも考えられています。ただ地域によっては快く思わない人がいる事に注意する必要があります。もし近所の方に配るときは、「もしよろしければ」と相手にも選択肢を与え、事も必要です。

**Q・お葬儀で頂いたお花は**

**何処に飾ってもよいの？**

**A・**これも特に正解はないようです。故人を偲び玄関や居間に飾っても良いで

すし、ご先祖様に〇〇さんの死をご報告するために、仏壇やお墓にお供える方もいます。ただこれも地域の風習や本人の考えといえます。

**Q・お仏壇にお供えるお花には**

**何が良いですか？**

**A・**お仏壇にお供えるお花を「仏花」といいますが、生花でないといけないと思われがちですが、実は造花やブリザードフラワーでも気持ちのこもったお花であれば問題はありません。家を空ける事が多かったり、毎日のお水の入れ替えが大変な場合は日々のお花は造花やブリザードフラワーを使い命日や月命日などの法事の日、お盆お彼岸には生花をお供えするなど使い分けるのもよいでしょう。

**Q・仏花について**

**A・**仏花でのお花の本数は「3本」「5本」「7本」と奇数とされているのが一般的です。

色は白・赤・黄・紫・ピンクなどを基本として花束にします。色の組み合わせは、お花の本数によって変わってきます。ただし、四十九日までは白もしくは淡い色のお花を飾りますので、注意が必要です。菊の花が仏花としては知られていますが、故人がお好きだったお花がある場合、そのお花を飾ってもよいでしょう。

### 今村生花様

株式会社 **フラワースポットいまむら**

〒921-8031 石川県金沢市野町2丁目33-2  
TEL 076-241-1321 FAX 076-243-1445  
HP <https://kanazawa-imamura.hanatown.net>

営業時間 9:00~18:30 定休日 日曜日



### 編集後記

今回は当社の祭壇生花を担当して頂いている「株式会社フラワースポットいまむら」さんをご紹介します。ふだんは裏方の仕事になり、皆様と直接出会うことはありませんが、この会報誌をきっかけに葬儀のお花の事を知っていただければ幸いです。

なお、取材を受けて頂いた今村健太さんは、独身なので彼女を募集しておりますので、併せてお願いします。

### 兼六互助センターからのお願い

■ご住所・ご連絡先が変わられた会員様へ  
**住所等変更をお知らせください**  
お電話またはEメールにて受け付けております。

**(076)242-0612**  
Eメール: [muraigrp@po.incl.ne.jp](mailto:muraigrp@po.incl.ne.jp)





今村 健太 35歳  
株式会社フラワースポットいまむら  
趣味：ゴルフ / 1級フラワー装飾技能士

## 白菊中心の祭壇から、 洋花も取り入れた祭壇へ

「いつもご遺族のご要望を形にしてください、ありがとうございます。今村さんと当社は、とても長いお付き合いですね。」

もう五十年近いですね。お付き合いが始まった当初は寺での葬儀が多かったのですが、今ではセレモニー会館での葬儀が中心になりました。場所も変わりましたし、葬儀における「花のあり方」についても変化を感じています。

「たとえば、どのような変化ですか？」  
今でも白木祭壇が主流ではありますが、花祭壇を選ぶご遺族も増えました。昔と比べると、飾られる花も変化しています。昔は白菊が一般的でしたが、近年では「故人が好きだったから」と、洋花を希望されるご遺族も増えました。白だ



けではなく、赤やピンクなどの色花も、ご希望にあわせて取り入れていきます。葬儀というと保守的な傾向がありますが、でも花に関しては、昔のスタイルを守りつつも、故人の思いや生き方、人柄を大切にしたい葬儀が増え、多様化しているように思います。

## 花選びで大切にしているのは、 ご遺族の思い

「祭壇を花で飾る際、大事にしていることは何ですか？」

できるだけご遺族の思いに寄り添うことです。大切な方が旅立ち、ご遺族は悲しみに包まれています。だからこそ「故人の好きな花で送り出したい」「季節感ある花で祭壇を飾ってあげたい」といったご遺族の思いを形にすることで、少しでも悲しみをやわらげられたらと考えています。

「定いただいたときには、ほうぼう探し回ることも多いですね。車を走らせて隣の県、そのまた隣の県まで行くこともあります。」

「そこまでして下さっているんですね。」  
ご遺族の思い入れが強ければ強いほど、ご期待に添いたいと思いますし、ベストを尽くさなくてはと感じるのです。大変なときもありますが、だからこそ喜んでいらっしやいましたよ」と聞くとうれしいですね。

「そうした声はスタッフ全員で共有して「良かったね」と声をかけ合っています。そして不思議なことに、大変だったときほど喜んでくださることも多く、励みになるんです。」

「今村さんが花に込めた思いが、ご遺族にも伝わるんですね。」

お客さまのために頑張ったことが、結果として私たちにも喜びとして返ってくるのは、ありがたいことだなと思います。それと「花の力」を実感することも多いんです。悲しみの中で行われる葬儀ですが、花がもつ美しい色や姿、かぐわしい香りには、ご遺族を癒やす力があると感じています。私たちも花の力に支えられているのかもしれない。

## 故人らしさが感じられる キーワードがカギ

「祭壇に故人らしさの感じられる花を飾りたいなら、ご遺族はどのようにリク

います。」

「バラの花も見かけますね。」

バラは気品のある美しい花ですが、トゲがあることから、葬儀の場にはふさわしくないと言われてきました。でも近年では、生前故人が希望されていたり、ご遺族が希望されたりする場合は、祭壇の花としても使われています。淡い色のバラだけではなく、真っ赤なバラを使ったこともあります。

「故人、そしてご遺族の思いを一番大事にしているのですね。当社スタッフも、思いに寄り添うことを大切にしています。同じ気持ちで携わってくださって心強いです。」

ご遺族に寄り添うということは、結果的に故人の歩んでこられた人生を尊重することにつながります。守るべき伝統は守りつつも、やはりご遺族、ひいては故人の思いに寄り添うことを大切にしたいと考えています。

## ときには大変、だからこそ 喜びの声が励みになる

「祭壇を花で飾るにあたって、どんなことが大変なのでしょう？」

やはり何ととっても、時間が限られていることです。どのような花を使うかが決まるのは、だいたい葬儀の前日です。短い時間の中で、ご希望の花を揃えなくてはなりません。手に入れることがむずかしい花をご指

「エストされると良いのですか？」

もし好きな花をご存じでしたら、葬祭ディレクターさんにその花をお伝えください。季節が異なると調達できない可能性もありますが、できる限りご希望に添い、故人が好きな花に囲まれて旅立てるようお手伝いできたらと思います。

好きな花をご存じない場合は、好きな色でも構いません。ピンクや黄色など、生前故人が好きだった色の花を飾ることで、故人らしさが感じられる祭壇になるかと思っています。

「好きな花や色が分からない場合はどうでしょう？」

故人のイメージが分かるキーワードを教えてください。それと「明るい」「いつもたくさんの人に囲まれていた」といったキーワードをいただくと、想像をふくらませ、イメージを花に変換して提案できます。たとえば「今の季節だと、ひまわりはいかがですか?」といった具合です。

この仕事をしていて、常々思いやりの大切さを感じます。これからもご遺族の気持ちに寄り添い、パートナーである村井の皆さま、会社のスタッフに対して思いやりをもち、喜んでいただける仕事をしようと思っています。

「今日は、「葬儀における花」というテーマに関して色々知ることができただけでなく、真心を感じる話たくさん聞くことができました。貴重なお話の数々、本当にありがとうございました。」

## 祭壇の種類



花祭壇



洋風祭壇



白木祭壇